

奈良市 協働のQ&A

vol.28

行政と協働する相手から、事業を実施しているときに行政の担当者が変わって困ってしまったという話ができることがあります。では、そういった市役所内の困った事態を避けるには、どのような方法があるのでしょうか。4問まとめてお答えします。



Q51

協働の必要性を課内や職員に理解・認識してもらうにはどうすればいいの？

A51

多くの自治体で市民や市民公益活動団体等との協働が推進されているけど、協働は公共的な課題を効果的に解決するために、市と様々な主体と一緒に取り組むための手段であって、協働すること自体が目的ではないんだ。だから、まずは現状の課題に対し、協働することでどのようなメリットがあるのかを職場内で議論しあえる場をつくって、課内や職員に協働の必要性を理解・認識してもらおう！

協働した場合のメリットを話し合ってみよう！

●こんな団体だったら、もっと専門的な知識を持ってるかも…。



●市民の声を聞くことができれば、新しい視点を取り入れられるかも？



●この企業と一緒にやれば、もっと効果的に事業を進められるんじゃない？



Q52、**担当者が人事異動してしまったらどうすればいいの？**

A52

人事異動によってこれまでの協働事業の担当者が代わっても、協働の相手の迷惑にならないよう、しっかりと引き継ぎを行なっていくことが重要なんだ。また、支障がでないよう常に複数の職員で事業を担当し、打合せ等の記録を必ず作成するなどの工夫をすることも大切だね。



事業を協働で実施していくためには、事業の目的や課題、協働の相手に対する理解等を組織のみんなで共有しておくことが必要なんだね！

Q53

協働事業を実施するときに、課内で気をつけることって何かあるの？

A53

協働事業を実施するときには、内部のメンバーが共通の理解を持つことが大切なんだ。協働の相手についてや、現状を改善する上での課題、目的、目標等を文章や図表で明らかにして、担当者だけでなく、組織内で共有しよう。

また、協働事業を始めてからも、各事業が市の計画や施策の方向性に沿っているか、より効率的に、効果的に目的を達成できるよう進められているかを組織の中で検討しながら運営していこう！

課内で共有しておこう！

担当者だけで課題を抱え込んでしまうことがないようにしなくっちゃ！

事業内容の
共通理解



事業をわかりやすく
文章化・図表化しておく

Q54

必要な人材や時間はどうやって確保するの？

A54

人手と時間が不足していると、なかなか新しい取り組みを始めるのが難しいこともあるよね。事業に初めて協働を取り入れるときは、市だけで実施する事業に比べて、パートナーと話し合う時間や、協定を締結する労力など、必要とされる人材や時間がどうしても多くなるんだ。でも、だからといってすぐに協働の取り組みをやめるのではなく、まずは比較的执行しやすいことや効果が出やすいことから、徐々に協働の要素を取り入れていこう！

また、すぐには協働することができない事業でも、いざ他の団体や企業などと一緒に行うことになった際に事業がスムーズに進むよう、職員間の協働についての意識の向上を図ることや、協働の手法を理解しておくことを心がけておこうね。



NEXT!

Q55 **協働事業を市民に理解・協力してもらうためには、どんな方法で広報・PRすればいいの？**…市民のみなさんと協働だ！…と思ったけど、どうPRすればいいの？

